

平成 29 年度サービス第三者評価結果（公益社団法人 全国有料老人ホーム協会）

法人名	株式会社トーアコーポレーション	ホーム名	アムール新宮	ID	2910
評価機関	京都府認知症グループホーム協議会			評価日	1月24日

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.3	A	A	6.1.2	A	A
1.1.2	B	B	2.3.4	B	B	6.1.3	A	A
1.1.3	C	C	2.3.5	B	B	6.2.1	A	A
1.1.4	A	B	2.3.6	C	C	6.2.2	A	A
1.2.1	A	A	2.3.7	B	B	6.2.3	A	A
1.2.2	B	B	2.3.8	非該当	非該当	6.2.4	C	A
1.2.3	A	A	2.3.9	A	A	6.2.5	A	A
1.3.1	A	A	2.3.10	A	A	6.2.6	A	A
1.3.2	B	A	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A
1.3.3	A	A	2.4.1	B	B	6.2.8	B	A
1.4.1	B	B	2.4.2	B	B	6.2.9	B	B
1.4.2	A	A	2.4.3	A	A	6.3.1	B	B
1.4.3	A	A	2.4.4	A	A	6.3.2	B	B
1.4.4	A	A	2.4.5	A	A	6.3.3	B	B
1.4.5	A	A	2.4.6	A	A	7.1.1	A	A
1.4.6	B	B	3.1.1	A	A	7.1.2	A	A
1.4.7	B	A	3.1.2	A	A	7.2.1	A	A
1.4.8	A	非	3.1.3	B	B	7.3.1	B	A
1.5.1	B	B	3.1.4	B	A	7.3.2	B	B
1.5.2	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.3	A	A
1.5.3	B	A	3.1.6	A	A	7.3.4	A	A
2.1.1	A	A	3.1.7	A	A	7.4.1	A	A
2.1.2	B	B	4.1.1	A	A	7.4.2	A	A
2.2.1	A	A	4.1.2	A	A	7.4.3	A	A
2.2.2	B	B	4.1.3	A	A	7.4.4	A	A
2.2.3	A	A	4.1.4	A	A	7.4.5	A	A
2.2.4	A	A	4.2.1	A	A	7.5.1	A	A
2.2.5	B	B	4.2.2	A	A	7.5.2	A	A
2.2.6	A	A	5.1.1	A	A	7.5.3	A	A
2.2.7	A	A	5.1.2	A	A	7.5.4	A	A
2.2.8	A	A	5.2.1	A	A	7.5.5	B	B
2.2.9	A	A	5.2.2	A	A	7.5.6	B	B
2.2.10	A	A	5.2.3	A	A	7.5.7	A	A
2.2.11	A	A	5.2.4	A	A	7.6.1	A	A
2.3.1	A	A	5.2.5	B	B	7.6.2	A	A
2.3.2	A	A	6.1.1	A	A	7.6.3	A	A

評価機関所見

◆優れた取り組みと思われる点	
スケルNo.	所 見
6-2-2	「ケアプランチェック表」という名称で、アセスメント表として代替的に「包括的自立支援プログラム」の様式導入し活用している。内容的にはきめ細やかに丁寧にアセスメントしている。様式の一部を修正し、アムール新宮独自のアセスメント様式に作り変えても良いと思うので今後、ネーミングを「アムール新宮アセスメント様式」としたら良いのではないかと考える。
6-2-4	「暫定ケアプラン」の作成。これは、コンプライアンス上必要なもので作成していることそのものは、特に優れた取り組みとは言えないが、従来未作成のものを行政監査による指摘を受けて即改善できている点を評価したい。新規入居者＋入居面談＋アセスメント＋暫定プラン＋サービス担当者会議＋本プラン作成の一連の流れを見える形で残すことをお奨めしたい。今後随時更新時に様式を整備すると良いと思う。また、ケアマネによる計画書を踏まえた、アムール新宮としての、「ケアサービス計画書」を介護リーダー及び介護職員が作成することにより、一層プランの徹底が図れるようになるかと推察される。
6-2-5	現プランの評価・見直し等、利用者及び家族・サービス担当者を交えて実施している。施設プランは、短期6ヶ月・長期1年とされている所が多いが、アムール新宮ではさらに短期設定して短期3ヶ月・長期6ヶ月でプラン作成しているケースを複数確認できた。60名以上のプラン作成で、全員が上記の設定ではないと思われるが、居宅事業所レベルの見直しサイクルで取り組まれていることは評価に値する。

◆さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点	
スケルNo.	所 見
1-1-4	事業計画の策定は実施できているが、単年度計画のみ当日確認ができた。事業計画策定者は法人の統括施設長ということで、あるいは中・長期計画まで策定出来ている可能性がある。また、事業計画の見直しがされていない。事業計画はアムール新宮の全ての活動に深く影響しているものなので、今後は是非とも3年～5年に及ぶ中・長期の計画を作成されたい。中長期へのビジョンを見える形にすることで、アムール新宮の幹部クラスによる、質の高い見直しも可能になってくる。
1-4-1	職員育成における個別の「人材育成計画」は確認できなかった。「職能等級格付け基準」によって個別の評価および報酬等が確定されていく流れを確認した。人材育成計画は事業の根幹として、中長期に見据えていくものなので、階層別・個人別の育成計画を作成することで、職員ひとり一人の目標が明確になり、キャリアアップの道筋が見えてくると考える。次年度に向けて、是非個別育成計画の策定をおすすめしたい。
2-3-4	利用者個々のニーズを吸い上げるために食事嗜好調査を年に数回実施しており、ニーズが細かく具体的であるため、プライバシーに抵触するので全体への公表はしていない。利用者個々への丁寧な配慮は実施できている。ただ、利用に当たっての全般の満足度調査がなされていない。当該調査は入居者だけでなく、家族の満足度調査も含めて年に1回実施してはいかがかと思う。年2回「家族懇談会」を開催しているので、この場で調査の回答をすることで、公表としてはどうか。
2-4-1	金品授受に関する取り扱いについて、倫理規定としては示されているが、マニュアル表記を確認できなかった。職員への指示・研修等でモラルの保持に配慮していることを確認したが、有料老人ホームにおいては特にこの点について対応を明確にすると良いと考える。マニュアルを作成・館内に掲示し、運営懇談会または、「アムール便り」にレターを同封するなど施設としての意思表示する方法もある。
7-5-5	施設内にリハビリルームを設置し、PT・OT・NS等の職員を配置し入居者のリハビリには力を入れている。PTによる週間リハビリ予定表も確認できたが、個々の「機能訓練計画書」が確認できなかった。これについては、ケアプランに記載し、機能訓練計画書の作成をぜひお奨めしたい。入居者のリハビリにしっかり取り組んでいる分、全体評価にも反映させたいと思うので、次年度に向けて計画書の作成を是非お願いしたい。取組そのものは、優れた取り組みとして評価に値する。